



平成 21 年 10 月 13 日

各 位

会 社 名 第一稀元素化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 杉井 洋
(コード番号 4082 東証第二部)
問合せ先 取締役総務部部長 笠間士郎
TEL. (06) 6682-1261

平成 22 年 3 月期業績予想の修正及び特別利益に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 21 年 4 月 21 日に発表いたしました業績予想の修正及び特別利益の計上につき下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期業績予想数値の修正

(1) 第 2 四半期累計期間 (平成 21 年 3 月 21 日～平成 21 年 9 月 20 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,700	百万円 50	百万円 20	百万円 300	円 銭 61.48
今回修正予想 (B)	6,549	481	479	416	85.91
増減額 (B-A)	1,849	431	459	116	
増減率 (%)	39.3	862.0	—	38.7	
(ご参考) 前年中間期実績 (平成 21 年 3 月期中間)	8,452	391	393	243	49.90

(2) 通期 (平成 21 年 3 月 21 日～平成 22 年 3 月 20 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 10,000	百万円 150	百万円 100	百万円 360	円 銭 73.77
今回修正予想 (B)	13,000	900	900	650	134.74
増減額 (B-A)	3,000	750	800	290	
増減率 (%)	30.0	500.0	800.0	80.6	
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期通期)	13,778	△496	△546	179	36.78

2. 業績予想の修正理由

(1) 第2四半期累計期間

自動車メーカーの生産調整が期初の早い段階で完了し、世界各国の補助金政策の恩恵もあり、自動車生産台数は当社想定以上のペースで回復いたしました。このため、当社の売上高も排ガス浄化触媒材料、酸素センサー材料、ブレーキ材などの自動車関連を中心に当初予想を大きく上回る結果となりました。一方で経費削減等の施策の着実な実行と販売の数量増効果により、営業利益・経常利益においても前回予想額を上回る見込みとなりました。これらの要因に特別損益等を織り込み、第2四半期累計期間の業績を上記のとおり修正いたします。なお、特別利益に計上いたしました福井市助成金500百万円につきましては、期初の業績予想に織り込み済みであります。

(2) 通期

期の後半につきましては、米国経済が金融収縮による最悪期からは脱したと思われるものの、補助金政策による自動車需要前倒しの影響等を考慮する必要があり、売上高は横ばい程度で推移する見込みであります。期前半の業績結果に加え、それらを織り込み通期の業績を修正いたします。

3. 特別利益の計上

福井工場の設備投資に対する福井市企業立地助成金500百万円と江津工場の設備投資に対する島根県企業立地促進助成金137百万円を特別利益に計上いたしました。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであります。予想には様々な不確実要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と大きく異なる場合があります。

以上